

## 「第2回西宮市地域公共交通活性化協議会」会議録

日 時：平成 22 年 2 月 1 日（月）10 時 00 分～12 時 00 分

場 所：西宮市民会館 中会議室 1

議 題：1．開会

2．委員紹介

3．西宮市地域公共交通活性化・再生総合事業計画の変更について

- ・利用実績について
- ・利用促進に関する経過
- ・国への申請経過
- ・事業収支について
- ・平成 21 年度 地域公共交通活性化・再生総合事業に係る自己評価について
- ・今後の対策について
- ・事業計画の変更について（案）

4．平成 21 年度事業の予算について

5．平成 22 年度スケジュール（案）について

6．その他

7．閉会

委員出席者

役職名	氏名	所属名	代理出席者
会長	長岡 弘明	西宮市 都市局 都市計画部長	
副会長	岩崎 義一	大阪工業大学 都市デザイン工学科 教授	
座長	大和 治文	社会福祉法人慶徳会 常務理事	
監事	畑 英隆	山口地区自治会連絡協議会	
監事	神吉 進一	西宮市 土木局 土木総括室長	
委員	庄治 清次	山口地区自治会連絡協議会	
	中村 和夫	西宮コミュニティ協会	
	有田 京子	西宮コミュニティ協会	
	小西 一夫	兵庫県バス協会 専務理事	欠席
	藤原 久也	兵庫県タクシー協会	
	西山 哲	阪急バス株式会社 自動車事業部長	
	福浦 秀哉	阪神バス株式会社 常務取締役	
	沖 信克	兵庫県交通運輸産業労働組合協議会 阪神地域協議会 議長	
	宇佐美 光博	国土交通省 兵庫国道事務所 調査課長	
	古瀬 隆一	兵庫県 阪神南県民局 県土整備部 西宮土木事務所 道路保全課長	欠席
	山田 訓弘	兵庫県 西宮警察署 交通第1課長	
	木村 淳三	国土交通省 神戸運輸監理部 兵庫陸運部 首席運輸企画専門官	近畿運輸局 自動車交通部 旅客第一課 専門官 上田 博一
	富士田 潔	兵庫県 阪神南県民局 県土整備部 西宮土木事務所 企画調整担当 主幹	欠席
	山本 幸夫	西宮市 教育委員会 学校教育部長	
前田 哲司	西宮市 健康福祉局 福祉総括室長		

事務局

西宮市 都市局 都市計画部 都市計画グループ

傍聴者

計1名

## 議事内容

### 1. 開会

西宮市都市局長より開会の挨拶。

### 2. 委員紹介

委員の紹介。

### 3. 西宮市地域公共交通活性化・再生総合事業計画の変更について

「利用実績」、「利用促進に関する経過」、「国への申請経過」について、事務局より説明（資料 1、資料 8-1、資料 3 参照）。

#### 質疑応答

特になし。

「事業収支」、「平成 21 年度 地域公共交通活性化・再生総合事業に係る自己評価」、「今後の対策」、「事業計画の変更」について、事務局より説明（資料 4-1、資料 9、資料 10、資料 5 参照）

#### 質疑応答

### 座長

資料 9「地域公共交通活性化・再生総合事業に係る事後評価における自己評価」についてですが、国土交通省に提出済みということでしょうか。

### 事務局

平成 22 年 1 月 26 日に提出しております。本来であれば、本協議会において報告し、承認いただいたからの提出になるのですが、事務局の準備不足、さらに自己評価の提出期限が迫っていた関係もあり、事後報告とさせていただきます。

### 座長

資料 5「西宮市地域公共交通活性化・再生総合事業計画（変更案）」において、平成 22、23 年度の事業費等の見込み額についてであります。今後のダイヤ改正、利用促進活動等を組み込んだ数値ということでしょうか。

### 事務局

来年度以降、増便により路線延長が約 21%延びることになり、その分、同程度運賃収入が増えるという想定までしかしておりません。今回の運行計画改正により、通勤客等がどの程度増えるのか、未確定な部分も多いですが、今のところ、路線延長が延びる分運賃収入も運行経費も増えるという想定までしかできていないのが現状であります。

## 座長

来年度以降の収支率はどれくらいになるのでしょうか。

## 事務局

来年度は 58%程度、平成 23 年度は 69%程度の予測をしております。

## 副会長

資料 9「地域公共交通活性化・再生総合事業に係る事後評価における自己評価」について、先程、事後報告という説明をいただきましたが、これは非常に重要な書類だと思います。地元（山口地域）の意見は反映されているのですか。

## 事務局

記載内容については、さくらやまなみバス利用促進協議会（以下「利用促進協議会」とする）で協議しているものではありませんが、自己評価については、まだ利用促進協議会で報告はしておりません。

## 副会長

自己評価の中で、数字を根拠に「～されている」等の表現がありますが、どの程度精度が高められているのですか。また、自己評価に対して、行政の中だけでなく、外部の意見をどの程度反映しているのですか。

## 事務局

パーソントリップ調査、OD 調査、利用者アンケート、阪急バスにより 10 月まで毎日実施していただいた乗降状況調査に基づいて評価を行っています。これらの調査内容・結果については、利用促進協議会で協議・報告しており、内容・情報の共有はできていると考えています。

## 委員

利用促進協議会は今までに 15 回開催しており、7 人の地元代表委員と西宮市、阪急バスで協議を行っています。月々の利用者数が 10 月には 2 万人を突破し、利用促進活動の効果は出ていると思われませんが、依然として計画より収支率は悪く、今後も努力していかなければならないと考えています。地元の課題として認識しているのは、利用者のうち約半数を占めていただいている南部間の移動における定期券利用による運賃収入が、さくらやまなみバスにどう反映されるのかということであります。

## 委員

さくらやまなみバスは阪急バスにより運行されていることもあり、阪神バスとしても可能な範囲で協力させていただきたいと考えております。しかしながら、阪神バスにおける乗合バスの運賃収入が全体的に減少しているなかで、正確なデータがあるわけではなく感覚的なものがありますが、競合する路線の運賃収入にかなり影響が出ていると思われれます。民間バス事業者として、経営努力を図るなかで、サービスレベルを極力維持したいと考えてはおりますが、競合路線がこのような状況ですので、今後さくらやまなみバスとの共存共栄が課題になると考えております。

## 会長

さくらやまなみバスの南部間利用において、定期券利用者の運賃収入の割り振りが今後の課

題です。定期的に交通流動調査等を実施したデータはあるのですか。数値によるデータ分析ができれば、多角的に検証ができると思われます。

#### 委員

毎年実施するわけではないので、過去のデータをもとに推計していくしかないと思われます。今後のデータにより、増便による影響は検証できると思います。

#### 委員

さくらやまなみバスに合わせて、阪急バスの既存路線も OD 調査を実施しています。平成 17 年度と平成 21 年度の利用者数のデータ比較になるので、期間はあいているのですが、宝塚・名塩方面から山口町・有馬温泉へのルートについては、有馬温泉が 52.4%減、名塩方面から北六甲台へは 21.2%減少しています。山口方面から宝塚・名塩方面については、有馬温泉から宝塚へは 39.3%減、北六甲台から名塩へは 13.2%減、既存バスの山口町内の利用は 3 分の 1 ほど減少しています。阪急夙川から甲山高校へは 32.5%減、甲山高校から阪急夙川へは 37.9%減、柏堂町から阪急夙川へは 22.2%減となっています。当社としても全体的に利用者数は減少傾向にあります。さくらやまなみバスによる既存路線への影響は出ております。

#### 都市局長

資料 4-1「バス事業費、利用促進活動費及び補助対象事業費の試算(事業収支)」におけるその他経費の内訳を教えてください。また、運賃収入についてですが、1 人あたりの単価が 280 円から 290 円になるということですが、1 便あたり平均 18 人の利用があり、南北間をまたがった利用が平均 9 人であることを考慮すると、運賃収入の 6,300 万円は少なすぎるのではないですか。

#### 事務局

その他経費の内訳については、ダイヤ改正等に要する費用、企画乗車券における委託費、一般管理費、適正利潤等が含まれます。運賃収入については、スクールパス、グランドパスの割引率が高く、一回利用あたりの単価がスクールパスで 200 円前後、グランドパスで 100 円前後であり、全体的に単価を下げています。OD 調査結果によると、通学利用が約 3 分の 1 を占めており、通勤者、有馬温泉の利用者が増えない限り単価は上がりません。南部間の定期券利用による既存路線との運賃収入の割り振りにについては、OD 調査結果をもとに、阪急バスと調整中であります。

#### 座長

西宮市地域公共交通活性化・再生総合事業計画の変更案について承認してよろしいか。

#### 全委員

異議なし。

全会一致で承認。

#### 4. 平成 21 年度事業の予算について

「平成 21 年度事業の予算」について、事務局より説明(資料 4-2 参照)

**質疑応答**

特になし

5. 平成 22 年度スケジュール（案）について

「平成 22 年度スケジュール（案）」について、事務局より説明（資料 6 参照）

**質疑応答**

特になし

**座長**

平成 22 年度スケジュールについて承認してよろしいか。

**全委員**

異議なし。

全会一致で承認。

6. その他

「青葉台地区の取り組みについて」について、事務局より説明（資料 7 参照）。

**質疑応答**

**委員**

ご報告いただいた青葉台地区の取り組みについては、本協議会のどういう位置づけによるものなのでしょうか。

**事務局**

西宮市地域公共交通総合連携計画の中で「バスネットワークの改善」を挙げており、現段階では総合事業計画に挙げておりませんが、今後の動向により、3 年間の中で総合事業計画に組み込む可能性があり、今回報告させていただいています。

**委員**

実証実験までされているということですが、本協議会の場で議論はしないのですか。

**事務局**

ボランティア方式でいくのか、運行事業者に委託するのか、道路運送法上の問題や既存路線との関係もあるので、意志決定の段階では本協議会に図らなければならないと考えています。

**委員**

さくらやまなみバスのように検討委員会を立ち上げて、検証はしないのですか。

**事務局**

さくらやまなみバスの計画・運営主体は市ですが、青葉台地区の取り組みに関しては地域が主体と考えており、さくらやまなみバスのように検討委員会を立ち上げる予定はございません。

**座長**

いろいろご意見ありがとうございました。国土交通省に提出する地域公共交通活性化・再生総合事業計画の変更につきましては、提出後に同省からのチェックを受け、修正を受ける場合があります。修正について計画に大筋の変更がない場合には、会長に一任いただくということで承認いただけるでしょうか。

**全委員**

意義なし。

全会一致で承認。

**座長**

今後の日程について事務局説明願います。

**事務局**

次回開催は、6月を予定しており、平成21年度の決算、事業報告を行います。

**座長**

本日はこれで閉会させていただきます。みなさまお疲れ様でした。

7. 閉会

以上